

## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 バルミューダ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6612 URL https://corp.balmuda.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺尾 玄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 佐藤 雅史 (TEL) 050(3733)9206  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月23日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期の連結業績 (2021年1月1日～2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	18,379	46.0	1,518	15.3	1,462	16.8	1,015	21.7
2020年12月期	12,587	16.0	1,317	22.9	1,252	19.5	834	31.8
(注) 包括利益	2021年12月期 1,015百万円 (21.7%)		2020年12月期 834百万円 (31.9%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	122.81	119.93	18.4	14.6	8.3
2020年12月期	127.29	124.86	25.7	17.7	10.5

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 一百万円 2020年12月期 一百万円

(注) 当社は2020年12月16日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場したため、2020年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2020年12月期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	10,881	6,292	57.8	755.63
2020年12月期	9,113	4,760	52.2	615.40

(参考) 自己資本 2021年12月期 6,292百万円 2020年12月期 4,760百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	△3,238	△964	738	1,000
2020年12月期	1,582	△421	2,046	4,452

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,410	0.2	800	△47.3	790	△46.0	550	△45.8	66.05

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

## (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	8,327,000 株	2020年12月期	7,735,000 株
② 期末自己株式数	2021年12月期	28 株	2020年12月期	— 株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	8,269,399 株	2020年12月期	6,553,989 株

## (参考) 個別業績の概要

2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

## (1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	18,368	46.4	1,509	16.2	1,457	18.0	1,013	23.4
2020年12月期	12,546	15.9	1,299	22.0	1,235	18.6	822	31.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	122.62	119.74
2020年12月期	125.42	123.03

(注) 当社は、2020年12月16日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場したため、2020年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2020年12月期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しています。

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	10,860	6,274	57.8	753.57
2020年12月期	9,093	4,744	52.2	613.42

(参考) 自己資本 2021年12月期 6,274百万円 2020年12月期 4,744百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4頁「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、前半においては経済活動に回復が見られたものの、半導体や部材の不足、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大等によるサプライチェーンの混乱等が深刻化したことから、後半においては回復のペースが鈍化しました。先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、景気を持ち直していくことが期待されます。

当社グループに関連する家電業界においては、一般社団法人日本電機工業会（JEMA）によると、2021年における民生用電気機器の国内出荷金額は2兆5,215億円（前年同期比99.4%）となりました。6月以降は2020年の需要増加の反動を受けたものの、過去10年平均の2兆3,303億円は大幅に上回っており、高い水準を維持しました。

このような環境下にあつて当社グループは、新製品の発売によってラインナップを拡充するとともに、ブランド力の強化及び更なる認知度向上のため、メディア露出、デジタル広告等によって事業拡大を図りました。結果として、「BALMUDA The Toaster（スチームトースター）」の累計販売台数が150万台を突破するなど、売上高は過去最高を更新しました。また、世界的なサプライチェーンの混乱や円安の影響が避けられないなか、適切なコストコントロールによって利益計画を上回りました。

このほか、新たな挑戦として、①IT機器やAV機器等、技術集積度の高い製品を扱う新ブランド「BALMUDA Technologies」を立ち上げ、②バルミューダの世界観の中で製品を体験することができる、当社グループ初となる旗艦店「BALMUDA The Store Aoyama」をオープンしました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、以下のとおりとなりました。

	(単位：百万円)			
	2020年12月期	2021年12月期	前期差	前期比(%)
売上高	12,587	18,379	5,792	46.0
営業利益	1,317	1,518	200	15.3
経常利益	1,252	1,462	209	16.8
親会社株主に帰属する当期純利益	834	1,015	181	21.7

国内販売については、年後半は巣ごもり需要や2020年の特別定額給付金による需要の一巡に伴い、落ち着きが見られたものの、「BALMUDA The Toaster（スチームトースター）」や「BALMUDA The Range（オープンレンジ）」を中心に堅調に推移しました。加えて、10月に発売した「BALMUDA The Brew（オープンドリップ式コーヒーメーカー）」の好調や、新たな製品カテゴリー（携帯端末関連）の製品として11月に「BALMUDA Phone（4.9インチ 5Gスマートフォン）」を発売したこともあり、売上高は前期比40.8%増となりました。

海外販売については、2020年後半から復調してきた韓国に対する輸出環境が以前の状態に戻りつつあることや、製品ラインナップの拡充、北米市場での販売拡大等により、売上高を伸ばしました。

	(単位：百万円)			
地域別売上高	2020年12月期	2021年12月期	前期差	前期比(%)
日本	9,596	13,514	3,917	40.8
韓国	1,644	3,317	1,672	101.7
その他	1,346	1,548	201	15.0
合計	12,587	18,379	5,792	46.0

	(単位：百万円)			
製品カテゴリー別売上高	2020年12月期	2021年12月期	前期差	前期比(%)
空調関連	3,422	3,349	△73	△2.2
キッチン関連	6,958	9,632	2,673	38.4
携帯端末関連	—	2,847	2,847	—
その他	2,205	2,549	344	15.6
合計	12,587	18,379	5,792	46.0

なお、当社グループは家電事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

## （2）当期の財政状態の概況

### （資産）

当連結会計年度末における資産合計は10,881百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,767百万円増加しました。流動資産は9,424百万円（前連結会計年度末比1,122百万円増）となり、これは主に現金及び預金が3,452百万円減少した一方で、期末にかけての売上増加により売掛金が3,043百万円、商品及び製品が1,270百万円増加したことなどによるものです。固定資産は1,457百万円（前連結会計年度末比645百万円増）となり、これは主に基幹システム及び新製品開発等によりソフトウェアが251百万円、製品に係る金型の取得により工具、器具及び備品が151百万円、旗艦店オープンに伴い建物附属設備が116百万円増加したことなどによるものです。

### （負債）

当連結会計年度末における負債合計は4,589百万円となり、前連結会計年度末と比べて235百万円増加しました。流動負債は4,440百万円（前連結会計年度末比566百万円増）となり、これは主に短期借入金が増加したことなどによるものです。固定負債は148百万円（前連結会計年度末比330百万円減）となり、これは長期借入金が増加したことによるものです。

### （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は6,292百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,532百万円増加しました。これは主に利益剰余金が増加した1,015百万円、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株発行等により資本金及び資本剰余金が増加した258百万円増加したことなどによるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は1,000百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,452百万円減少しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は3,238百万円（前連結会計年度は1,582百万円の獲得）となりました。主な使用要因は売上債権の増加3,043百万円、税金等調整前当期純利益の計上1,461百万円、たな卸資産の増加1,290百万円、法人税等の支払額626百万円です。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は964百万円（前連結会計年度は421百万円の獲得）となりました。主な使用要因は有形固定資産の取得による支出570百万円、無形固定資産の取得による支出311百万円です。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は738百万円（前連結会計年度は2,046百万円の獲得）となりました。主な獲得要因は短期借入金による収入2,000百万円、短期借入金の返済による支出1,500百万円です。

#### （4）今後の見通し

当社グループは、「卓越した創意工夫と最良の科学技術によって、どこにもなかった素晴らしい方法を創出し、人々の役に立つ」という企業理念（The Vision）のもと、最も大切なことは「物よりも体験」であると考え、家電という道具を通して、素晴らしい体験を社会にお届けするべく事業活動に取り組んでいます。

今後も心躍るような素晴らしい体験をお届けできる製品やサービスを提供していくため、積極的な経営資源の投下を継続します。具体的には、①重点地域（日本・北米・韓国）への製品展開の加速、②更なる原価低減、部材調達力向上及び製品開発プロセスの効率化、③「BALMUDA Phone」の継続的な価値向上等に取り組んでいきます。

2022年12月期における当社グループの業績見通しについては、以下のとおりです。

（単位：百万円）		
	2022年12月期	前期比（%）
売上高	18,410	0.2
営業利益	800	△47.3
経常利益	790	△46.0
親会社株主に帰属する当期純利益	550	△45.8

なお、業績予想は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,452	1,000
売掛金	2,278	5,321
商品及び製品	1,271	2,541
原材料及び貯蔵品	200	220
その他	99	340
流動資産合計	8,301	9,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50	170
減価償却累計額	△13	△18
建物及び構築物 (純額)	37	152
車両運搬具	3	3
減価償却累計額	△1	△2
車両運搬具 (純額)	2	1
工具、器具及び備品	1,361	1,793
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,015	△1,273
工具、器具及び備品 (純額)	345	520
建設仮勘定	70	68
有形固定資産合計	455	743
無形固定資産		
ソフトウェア	121	372
ソフトウェア仮勘定	3	6
特許実施権	—	26
無形固定資産合計	125	405
投資その他の資産		
繰延税金資産	202	203
その他	28	106
投資その他の資産合計	231	309
固定資産合計	811	1,457
資産合計	9,113	10,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,476	1,763
短期借入金	300	800
1年内返済予定の長期借入金	367	475
未払法人税等	419	238
賞与引当金	90	91
製品保証引当金	330	383
その他	889	687
流動負債合計	3,874	4,440
固定負債		
長期借入金	479	148
固定負債合計	479	148
負債合計	4,353	4,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,149	1,407
資本剰余金	1,146	1,404
利益剰余金	2,462	3,477
自己株式	—	△0
株主資本合計	4,758	6,289
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1	2
その他の包括利益累計額合計	1	2
純資産合計	4,760	6,292
負債純資産合計	9,113	10,881



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,587	18,379
売上原価	7,134	11,059
売上総利益	5,453	7,320
販売費及び一般管理費	4,135	5,802
営業利益	1,317	1,518
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
雑収入	2	2
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	14	15
為替差損	15	29
株式公開費用	20	—
雑損失	17	12
営業外費用合計	67	58
経常利益	1,252	1,462
特別利益		
受取保険金	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前当期純利益	1,267	1,461
法人税、住民税及び事業税	473	446
法人税等調整額	△40	△0
法人税等合計	432	445
当期純利益	834	1,015
親会社株主に帰属する当期純利益	834	1,015

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	834	1,015
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	0	0
包括利益	834	1,015
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	834	1,015

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整 勘定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	53	50	1,628	—	1,731	1	1	1,732
当期変動額								
新株の発行	1,096	1,096			2,192			2,192
親会社株主に帰属する 当期純利益			834		834			834
自己株式の取得					—			—
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						0	0	0
当期変動額合計	1,096	1,096	834	—	3,027	0	0	3,027
当期末残高	1,149	1,146	2,462	—	4,758	1	1	4,760

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整 勘定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	1,149	1,146	2,462	—	4,758	1	1	4,760
当期変動額								
新株の発行	258	258			516			516
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,015		1,015			1,015
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						0	0	0
当期変動額合計	258	258	1,015	△0	1,531	0	0	1,532
当期末残高	1,407	1,404	3,477	△0	6,289	2	2	6,292

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,267	1,461
減価償却費	252	334
株式報酬費用	—	10
株式交付費	—	2
株式公開費用	20	△6
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	113	52
製品自主回収関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△43	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29	1
受取利息及び受取配当金	△0	△0
受取保険金	△14	—
支払利息	14	15
為替差損益 (△は益)	3	△11
固定資産除却損	—	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△475	△3,043
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△261	△1,290
仕入債務の増減額 (△は減少)	418	290
その他の資産の増減額 (△は増加)	98	△199
その他の負債の増減額 (△は減少)	385	△215
小計	1,808	△2,596
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△13	△16
法人税等の支払額	△227	△626
保険金の受取額	14	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,582</b>	<b>△3,238</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△361	△570
無形固定資産の取得による支出	△53	△311
その他投資による支出	△5	△82
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△421</b>	<b>△964</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150	500
長期借入れによる収入	150	200
長期借入金の返済による支出	△432	△423
株式の発行による収入	2,178	461
自己株式の取得による支出	—	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,046</b>	<b>738</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	12
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>3,204</b>	<b>△3,452</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,248	4,452
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>4,452</b>	<b>1,000</b>

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、家電事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しています。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	空調関連	キッチン関連	その他	合計
外部顧客への売上高	3,422	6,958	2,205	12,587

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	その他	合計
9,596	1,644	1,346	12,587

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Limotech Korea Co., Ltd.	1,644	家電事業
株式会社ミツバ	1,462	家電事業

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

	空調関連	キッチン関連	携帯端末関連	その他	合計
外部顧客への売上高	3,349	9,632	2,847	2,549	18,379

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	韓国	その他	合計
13,514	3,317	1,548	18,379

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：百万円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Limotech Korea Co., Ltd.	3,317	家電事業
ソフトバンク株式会社	2,763	家電事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

当社グループは、家電事業の単一セグメントであり、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産	615.40円	755.63円
1株当たり当期純利益	127.29円	122.81円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	124.86円	119.93円

(注) 1. 当社は2020年12月16日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当連結会計年度末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しています。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	834	1,015
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	834	1,015
普通株式の期中平均株式数（株）	6,553,989	8,269,399
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数（株）	127,562	198,910
（うち新株予約権（株））	(127,562)	(198,910)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—